

## 「ロボット田植機」現地検討会の開催

～最新のスマート農業技術を紹介！～

印旛農業事務所改良普及課 令和5年5月15日発

印旛農業事務所では、水稻生産者の春作業の効率化に向けて、最新のスマート農業技術について理解を深めるため、4月25日に「ロボット田植機」現地検討会を佐倉市で開催しました。当日は水稻生産者等13名が参加しました。

ロボット田植機を用い、三角形の不整形な水田ほ場における移植作業を実演しました。GPS 制御の自動操縦により、不整形なほ場においてもベテランの作業員と同等以上の精度で移植作業を行うことができました。参加した生産者からは、機械の性能や価格等について多数質問があり、「自分が作業するより早く、正確な作業ができていた」「価格は高額だが、たしかに価格に見合う性能がある」など、最新のスマート技術に対する驚きの声が聞かれました。

農業事務所では、今後も水稻経営体の規模拡大に向けて支援をしていきます。



機械の性能について説明を受ける生産者



GPS 制御により自動移植が可能